

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

<b>事業名</b>	一般国道223号 <small>こたに</small> 小谷拡幅	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	鹿児島県								
<b>起終点</b>	自：鹿児島県始良郡牧園町高千穂 至：鹿児島県始良郡牧園町高千穂	<b>延長</b>	3.4 km										
<b>事業概要</b> 一般国道223号は、宮崎県小林市から鹿児島県始良郡隼人町に至る延長6.2 kmの幹線道路であるほか、霧島屋久国立公園内を經由する観光道路として重要な路線である。小谷拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長3.4 kmの2車線道路である。													
S56年度事業化		H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	S56年度用地着手	S57年度工事着手									
<b>全体事業費</b>		11.6億円	<b>事業進捗率</b>	72%	<b>供用済延長</b>	2.9 km							
<b>計画交通量</b>		13,100台/日											
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 35 / 64 億円		総便益 (残事業/事業全体) 82 / 265 億円									
	(残事業)	事業費：34 / 63 億円 維持管理費：1 / 1 億円		走行時間短縮便益：76 / 257 億円 走行費用減少便益：6 / 8 億円 交通事故減少便益：0 / 0 億円									
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・災害への備え（現道の異常気象時特殊通行規制区間を解消する） <span style="float: right;">他3項目に該当</span>													
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 小谷拡幅は、地域交流の促進、観光商業地の活性化、通行規制区間の解消等に重要な役割を果たすことが期待されており、地元においても、平成5年に霧島温泉郷事業共同組合を設立し、道路改築に併せた商店街の活性化を図る事業を導入するなど早期整備が熱望されている（平成2年10月）。													
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 「霧島国際芸術の森」構想の中核として『みやまコンセール』が建設され、国内外からの音楽家が集う霧島国際音楽祭や様々なコンサート等を開催しており、関連する入り込み客が増加している。													
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> これまで、道路延長で約2.9 km（85%）を供用しており、残る約0.5 kmについては、橋梁によるバイパス計画としている。													
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 残る約0.5 km区間については、既に橋梁下部工に着手しており、平成19年度までに完成させる予定である。													
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 温泉環境下における橋梁建設となることから、学識経験者や経験豊富な技術者から構成される、技術検討委員会の指導・助言に基づき工事を進めることとしている。													
<b>対応方針</b>		事業継続											
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
<b>事業概要図</b>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">凡</th> <th style="width: 50%;">例</th> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; border: 1px dashed black;"></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; border: 1px solid black;"></td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>		凡	例		供用中		再評価箇所		うち供用中				
凡	例												
	供用中												
	再評価箇所												
	うち供用中												

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

